

2025年度

国際観光・ビジネス科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T1-K02
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Job hunting I 就職 I					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	神谷 由佳	
授 業 の 目 的						
就職活動を行い、内定を得るためには、就職試験対策に加え、採用システムの理解、業界研究が必須である。本科目では、世界でも独特な日本の採用システムを理解し、その準備を行う。サービス業を中心に業界研究を行ったうえで、求人票の見方を学び、自ら志望する会社を選択できるようにする。また、履歴書の作成、面接練習も行う。						
授 業 の 到 達 目 標						
1. さまざまな媒体で就職情報を得て、その内容を理解することができる。 2. 面接マナーを理解し、実践できる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習		実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
修了時課題			10%	10%	5%	25%
修了時実技			10%	10%	5%	25%
随時課題			10%	10%	10%	30%
授業態度					20%	20%
使用テキスト・教材						
教員が適宜作成するプリント						

[illegible]

その他

関連科目

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T1-K05
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Business Writing I ビジネス文書作成 I					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	神谷 由佳	
授 業 の 目 的						
専門学校での学習や就職後の業務において、わかりやすい文章を書く能力は必須である。学生は、話し言葉と書き言葉を区別し、自分が伝えたいことを相手に理解してもらえる表現を学び、文章にしていける能力を身につける。本科目では報告書と履歴書の作成を通し、自分の文章を客観的に読む目を養い、ブラッシュアップしていく。						
授 業 の 到 達 目 標						
(1) 読み手を意識した、読みやすい字を書くことができる。 (2) フォーマットに従い、履歴書を書くことができる。 (3) 自分の文章を読み直し、自分で修正することができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
修了課題			15%	15%	10%	40%
修了試験			5%	5%		10%
随時課題			10%	15%	15%	40%
受講態度					10%	10%
使用テキスト・教材						
教員が用意するプリント						

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度	
				科目コード	T1-K07	
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス		
Business Etiquette ビジネスマナー				国際観光・ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	夏目 靖子	
授 業 の 目 的						
日本の社会を理解し活躍できるようなマナーを身につける。また、同時に日本での就職活動に必要な考え方やマナーも習得する。ロールプレイングで実践力を養う。						
授 業 の 到 達 目 標						
①日本のビジネス社会について深く知り、親しみや関心を持つことができる。 ②日本のビジネス場面に必要な会話や立ち居振る舞いできるようになる。 ③就職活動において必要なマナーを習得し、実践できるようになる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
単元テスト			20%	20%		40%
ロールプレイング			10%	20%	10%	40%
受講態度・出席状況					20%	20%
使用テキスト・教材						
・ 浜松未来総合専門学校「就職の手引き」 ・ 資料プリント、練習問題、演習問題（自作）						

[illegible]

その他
※この科目は、実務経験のある教員が担当する科目である。

関連科目
・ ビジネスコミュニケーションⅠ／Ⅱ

・ビジネスコミュニケーションⅠ／Ⅱ

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授 業 概 要）		年 度	2025 年度		
		科目コード	T1-K09		
時間数は 4 5 分換算					
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス	
Business Communication I				国際観光・ビジネス科	
ビジネスコミュニケーション I					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	金田 雅美
授 業 の 目 的					
・ 予測不可能な異文化衝突に対処していこうとする態度を育てること。 ・ 学生が自分と他者との協働によって問題解決策を検討していくための社会（人間）環境を作り出す能力を育成する。					
授 業 の 到 達 目 標					
・ 異文化衝突に出会ったときに、相手の価値観等に理解を示し衝突を回避する思考が身についている ・ 他者との協働作業ができる					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ		P B L	○	反転授業	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○
その他					
成 績 評 価 の 方 法					
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度
評価項目					配点計
授業態度			10%	20%	20%
発表			10%	20%	10%
出席状況					10%
使用テキスト・教材					
ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う					

[illegible]

関連科目

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T1-K11
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Advanced Japanese I					国際観光・ビジネス科	
応用日本語 I						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	選択	60	2	金田 雅美	
授 業 の 目 的						
・ 日本語能力の N2 レベルの底上げを目指す。語彙や文法を身に着けるとともに、読解力の向上を図る。 ・ 日本人なら誰でも知っている人物を授業の中で取り上げることで、日本に対する理解を深める。						
授 業 の 到 達 目 標						
・ 日本語能力 N2 レベル ・ 著名な日本人について基本的な知識がある						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
随時テスト			20%	%	%	20%
期末テスト			30%	10%	%	40%
課題への取り組み			%	%	20%	20%
授業態度			%	%	15%	15%
出席率			%	%	5%	5%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『THE GREAT JAPANESE 中上級』						

[illegible]

関連科目

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T1-K13
時間数は4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Measures for Japanese language qualifications 1 日本語資格対策 I					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	選択	60	2	平澤 沙奈恵	
授 業 の 目 的						
・日本語能力試験は就職で必要となるため、高レベルを目指しながら日本語の運用能力向上も目指す。						
授 業 の 到 達 目 標						
・1 年生では全員 N2 に合格できる						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習		実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目			30%	%	%	30%
確認テスト			30%	10%	%	40%
期末テスト			%	%	20%	20%
授業態度			%	%	10%	10%
出席率			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『20 日で合格 日本語能力試験 N2・N3』						

[illegible]

その他

関連科目

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T1-K15
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Japanese Culture I					国際観光・ビジネス科	
日本文化 I						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	選択	30	1	神谷 由佳	
授 業 の 目 的						
・日本の伝統文化からポップカルチャーまでの文化理解を深める ・日本の歴史・教育・政治などの基本的な知識を学び、日本語力の底上げを図る						
授 業 の 到 達 目 標						
・日本の伝統文化、ポップカルチャーについて日本語で話ができる ・どのような分野の話題にも関心を持つことができる						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
確認テスト			40%	10%	%	50%
授業態度			%	%	15%	15%
出席率			%	%	5%	5%
発表			%	10%	20%	30%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『クローズアップ日本事情 15』						

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授業概要）		年 度	2025 年度		
		科目コード	T1-K21		
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス	
IT Basic Skills 1				国際観光・ビジネス科	
IT 基礎技術 I					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	笹瀬 由香
授 業 の 目 的					
パソコンの基本操作を日本語で習得し、知識を深める。 日本情報処理検定協会「文書デザイン検定」合格を目標として操作技術の向上をはかる。					
授 業 の 到 達 目 標					
Word/Excel/PowerPoint の基本操作を習得する。 日本情報処理検定協会「文書デザイン検定」4 級以上合格を目標として操作技術の向上をはかる。					
授業方式					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ		P B L		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○
その他					
成 績 評 価 の 方 法					
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度
評価項目					配点計
課題			10%	10%	30%
期末試験			50%	%	50%
授業態度			%	%	15%
出席率			%	%	5%
			%	%	%
			%	%	%
			%	%	%
使用テキスト・教材					
『留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint 入門』 技術評論社 『文書デザイン検定試験 文書デザイン 模擬問題集』 日本情報処理検定協会					

[illegible]

その他

※実務経験のある教員が担当する科目である。

関連科目

シラバス（授 業 概 要）				年 度	2025 年度	
				科目コード	T1-K23	
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス		
Presentation skill I				国際観光・ビジネス科		
プレゼンテーション技法 I						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	神谷 由佳	
授 業 の 目 的						
・プレゼンテーションは、専門科目の授業や就職活動、仕事等、ありとあらゆる場所で必要となる能力である。本科目では、自分の考えをわかりやすく相手に伝えるためのプレゼンテーションスキルを習得する。プレゼンテーション制作の流れに沿って情報収集、資料作成を行い、日本語でのプレゼンテーションパフォーマンス力を向上させる。						
授 業 の 到 達 目 標						
・自分の意見、考えを相手に明確に説得力のあるプレゼンで伝えることができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		P B L	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業		
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
授業態度			10%	20%	20%	50%
発表			10%	10%	25%	45%
出席率			%	%	5%	5%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『クローズアップ日本事情 15』						

[illegible]

関連科目

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T1-K30
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Sales Management I 営業マネジメント I					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	山田 穎二	
授 業 の 目 的						
マネージメントとは「組織に成果をあげさせるもの」。組織（観光）の使命を知り、組織の使命から顧客の求めている商品を作り、価格や販売方法など総合的に考え利益について考えます。 「誰に・どのような価値を・どのようにして提供するか」を習得するために考察します。						
授 業 の 到 達 目 標						
（１）正しい日本語で記述できる （２）マネージメントの基本を習得できる （３）製造業にとってのマネージメントを習得できる （４）マネージメントにおける商品を知ることができる						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計	
評価項目						
定期テスト（筆記）		40%			40%	
随時テスト（筆記）		50%			50%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
なし						

[illegible]

その他
※実務経験のある教員が担当する科目である。

関連科目

シラバス（授 業 概 要）				年 度	2025 年度
				科目コード	T1-K32
時間数は 4 5 分換算					
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス	
Service and reception skills I サービス・接客 I				国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	120	4	山添 有香子
授 業 の 目 的					
接客業での就業を目指す外国人学生は接客ホスピタリティーの意義を学び「おもてなしの心」を具現化した日本語表現と型を身に付けることが求められる。そのため、学生はホテル・空港・デパートなどで使用されるその場にふさわしい丁寧な表現や洗練された立ち居振る舞いなど接客のコミュニケーションをロールプレイング形式で学び主体的に接客できるよう対人技能を身に付ける。また、目標としてサービス接客検定準1級ロールプレイング部門を取得することが求められる。					
授 業 の 到 達 目 標					
・日本の接客の特徴を理解し「おもてなしの心」を表現実践することができる ・日本人が聞き取りやすい発音でホテル、空港、デパートでの対面接客をすることができる ・正しい敬語と文法でお客さまへの依頼、謝罪、提案ができる ・サービス接客検定準1級ロールプレイング部門を取得する					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ	○	P B L		反転授業	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	
その他					
成 績 評 価 の 方 法					
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度
評価項目					配点計
修了時テスト（筆記）			40%	%	%
修了時テスト（実技）			5%	20%	%
随時課題（筆記・実技）			10%	10%	%
受講態度			%	%	10%
出欠状況			%	%	5%
			%	%	%
			%	%	%
使用テキスト・教材					
『おもてなしの日本語 基本編』（アスク）					

[illegible]

その他
※実務経験のある教員が担当する科目である

関連科目
サービス接遇Ⅱ

サービス接遇Ⅱ

シラバス（授業概要）		年 度	2025 年度			
		科目コード	T1-K35			
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Hospitality English I 接客英語 I					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	安座間 亜由美	
授 業 の 目 的						
外国人のお客様が多い昨今、日本語だけでなく英語での対応もできるようにするため基本的な接客英語の表現を学ぶ。						
授 業 の 到 達 目 標						
ホテルで外国のお客様と宿泊に関する基本的なコミュニケーションをとることができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	P B L	○	反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
期末テスト			20%	20%	%	40%
出席状況			%	%	10%	10%
態度			%	10%	10%	20%
随時テスト×3			15%	15%	%	30%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『ホテル英会話Ⅰ 基礎編』 日本ホテル教育センター （基礎クラス） 『ホテル英会話Ⅱ 応用編』 日本ホテル教育センター （応用クラス）						

[illegible]

その他
※この科目は、実務経験のある教員が担当する科目である。
※2 年生と合同レベル別で授業を行う

関連科目 ・「ホテル概論」、「ホテル実務」、「ホテル研究」 ・ホテル専門用語活用Ⅱ
--

※この科目は、実務経験のある教員が担当する科目である。

※2 年生と合同レベル別で授業を行う

※2 年生と合同レベル別で授業を行う

- ・「ホテル概論」、「ホテル実務」、「ホテル研究」
- ・ホテル専門用語活用Ⅱ

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T1-K38
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
TOEIC I					国際観光・ビジネス科	
TOEIC 対策 I						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	安座間 亜由美	
授 業 の 目 的						
履歴書に書け、就職活動でアピールできるようにする。 仕事をする上で必要な英語力を身に付ける。						
授 業 の 到 達 目 標						
TOEIC 300～500 点に合格できる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計	
評価項目						
期末試験		30%	20%	%	50%	
授業態度		%	10%	30%	40%	
出欠		%	%	10%	10%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
使用テキスト・教材						
・『はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん』 スリーエーネットワーク						
・『TOEICテスト公式問題集』						

[illegible]

その他

関連科目

※英語を使用しての業務経験がある講師が担当する。
※実務経験のある教員が担当する科目である。

[illegible]

日本事情 ツアープランニング

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度
				科目コード	R2-K41
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス
Tour Planning 1 ツアープランニング I					国際観光・ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	神谷 由佳
授 業 の 目 的					
・前期では、観光業の基礎知識と浜松周辺の観光素材を学び、実際の観光地へのフィールドワークを行い、観光地の魅力や課題も研修し簡単な近場のプランニングを行う 後期の前半では、近隣のホテルへのフィールドワークを行い、ホテル業を研修する 県外のツアープランと観光地の講義を通し、広域コースプランニングを行う 最終は自身で作成したプランニングをプレゼンテーションする					
授 業 の 到 達 目 標					
（１）プランニングの基礎を習得する （２）JR等の運賃計算の仕組みや全国の観光地への行き方を習得 （３）ニーズに合ったプランニングを習得 （４）プレゼンテーション能力を高める					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク	○	プレゼンテーション	○
ロールプレイ		P B L		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	
その他					
成 績 評 価 の 方 法					
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目					
終了時プレゼンテーション		30%	20%	%	50%
定着テスト		10%	%	%	10%
課題		10%	10%	%	20%
受講態度		%	%	20%	20%
使用テキスト・教材					
講義では配布するレジュメ、パワーポイントを使用する JR時刻表は講師から配布（2～3人に1冊）					

[illegible]

観光地理

シラバス（授業概要）		年 度		2025 年度	
		科目コード		T1-K43	
時間数は 4 5 分換算					
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス	
ホテル基礎知識				国際観光ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1 年	前期	必修	30	1	平澤 沙奈恵
授 業 の 目 的					
ホテルの宿泊経験がない学生が多くいるため、ごく一般的な知識の習得から導入し、その後、専門用語を含めた専門知識へと学習を進めて行く。					
授 業 の 到 達 目 標					
ホテル、旅館について簡単な知識、歴史を身に着けることができる。 ホテル、旅館で働くことについて具体的に考えることができる。					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ		P B L	○	反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○
その他					
成 績 評 価 の 方 法					
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度
評価項目					配点計
定期テスト			40%	%	40%
課題			20%	10%	30%
態度			%	%	20%
出席状況			%	%	10%
			%	%	%
			%	%	%
			%	%	%
使用テキスト・教材					
ホテルテキスト 基礎から学ぶホテルの概論 ウイネット（コピー対応） 旅館ホテル観光の教科書 NPO 法人 日本ホテルレストラン経営研究所					

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T1-K44
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
ホテル実務 I					国際観光ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1 年	後期	必修	30	1	杉森沙奈恵	
授 業 の 目 的						
ホテルで就職した際、即戦力になるためにリザーベーション、レセプションについての業務と必要な知識を学び、実際にチェックイン、アウト、予約のデモを行う。また、就職活動で目に見えた成果をみるため旅館ホテル観光ビジネス検定 3 級に挑戦する						
授 業 の 到 達 目 標						
ホテルでのフロントオフィス業務について理解でき、チェックイン、チェックアウト、予約電話の対応ができる。 旅館ホテル観光ビジネス検定 3 級に合格することができる						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	P B L	○	反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
随時テスト（チェックイン、予約、チェックアウト）			40%	40%	%	80%
出席状況			%	%	10%	10%
態度			%	5%	5%	10%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
ホテルテキスト宿泊Ⅰ フロントオフィス編 ウイネット 旅館ホテル観光の教科書 NPO 法人 日本ホテルレストラン経営研究所						

[illegible]

その他
※実務経験のある教員が担当する科目である ※2年生にゲストとして参加してもらい実際にチェックインを実演させフィードバックをもらう

関連科目
・「サービス・接遇Ⅰ」、「サービス・接遇Ⅱ」 ・「ホテル基礎知識」、「ホテル実務Ⅱ」

- ・「サービス・接遇Ⅰ」、「サービス・接遇Ⅱ」
- ・「ホテル基礎知識」、「ホテル実務Ⅱ」

2025年度

国際観光・ビジネス科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K03
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Job hunting II 就職 II					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	20	1	神谷 由佳	
授 業 の 目 的						
本格化する就職活動の中で内定を得るために、エントリーシート、履歴書、面接、とそれぞれのフェーズを突破していく能力を身に着ける。						
授 業 の 到 達 目 標						
1. 面接において、質問の意図をくみ、答えることができる。 2. 企業情報を正確につかみ、履歴書、面接に反映することができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習		実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計	
評価項目						
修了時実技		10%	20%	10%	40%	
随時実技		10%	20%	10%	40%	
授業態度				20%	20%	
使用テキスト・教材						
なし						

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K04
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Work Preparation 就労準備					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	20	1	神谷 由佳	
授 業 の 目 的						
就職活動の結果として内定を得たら、留学生は在留資格変更許可申請を行ない、在留資格を「留学」からいわゆる「就労」のビザに変更する必要がある。本科目では、出入国在留管理局に申請する在留資格変更許可申請の書類準備を行なう。						
授 業 の 到 達 目 標						
1. 申請書のフォームに必要な事項を入力することができる。 2. 就労する会社に対して申請理由書を作成することができる。 3. 履歴書を作成することができる。						
授 業 方 式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授 業 形 態						
講義	○	演習		実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業		
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計	
評価項目						
この科目は認定科目のため成績評価はありません						
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
在留資格変更許可申請書（出入国在留管理局の定型フォーム） 申請理由書の書き方（独自プリント） 履歴書用紙（独自フォーム）						

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K06
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Business Writhing II ビジネス文書作成Ⅱ					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	神谷 由佳	
授 業 の 目 的						
ビジネスシーンにおいて、文章を読んだり作成したりする場面が非常に多い。本科目では、業務を円滑に遂行していくためのビジネス文書作成技術を学ぶ。就職後すぐに作成する機会が訪れる報告書の作成を軸に、各種ビジネス文書の内容、提出のタイミング、事実と意見の表現方法の違いを学び、相手に伝わる、わかりやすい文書を作成する知識と技術を習得する。さらに、業務で使用する専門用語を正しく理解し、文書に取り入れることができるようにする。						
授 業 の 到 達 目 標						
（１） 各種ビジネス文書の目的と内容が理解できる。 （２） 各種フォーマットに合わせて、文書を作成することができる。 （３） 適切な表現を使い、相手にとってわかりやすい文書を作成することができる。 （４） 専門用語を正しく理解し、使用することができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
修了課題			15%	15%	10%	40%
修了試験			5%	5%		10%
随時課題			10%	15%	15%	40%
受講態度					10%	10%
使用テキスト・教材						
教員が用意するプリント						
授業内容・授業計画						

[illegible]

シラバス（授 業 概 要）		年 度	2025 年度		
		科目コード	T2-K10		
時間数は 4 5 分換算					
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス	
Business Communication 2				国際観光・ビジネス科	
ビジネスコミュニケーションⅡ					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	金田 雅美・夏目 靖子
授 業 の 目 的					
・ 予測不可能な異文化衝突に対処していこうとする態度を育てること。 ・ 学生が自分と他者との協働によって問題解決策を検討していくための社会（人間）環境を作り出す能力を育成する。					
授 業 の 到 達 目 標					
・ 異文化衝突に出会ったときに、相手の価値観等に理解を示し衝突を回避する思考が身についている ・ 他者との協働作業ができる					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ		P B L	○	反転授業	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○
その他					
成 績 評 価 の 方 法					
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度
評価項目					配点計
授業態度			10%	20%	20%
発表			10%	20%	10%
出席状況					10%
使用テキスト・教材					
ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う 2					

[illegible]

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K12
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Advanced Japanese II					国際観光・ビジネス科	
応用日本語Ⅱ						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	選択	30	1	神谷 由佳	
授 業 の 目 的						
第二言語である日本語を用いて、日本社会で働き、生活していくための日本語力を身に着ける。 本科目では、上級レベルの教材を使用し、ビジネスレベルの語彙力、文法力、読解力をバランスよく習得していく。						
授 業 の 到 達 目 標						
・ 日本語能力試験 N 1 レベルの日本語力を身につける。 ・ 上級レベルの日本語を理解し、運用することができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
随時テスト			20%			20%
期末テスト			30%	10%		40%
課題への取り組み					20%	20%
授業態度					15%	15%
出席率					5%	5%
使用テキスト・教材						
『テーマ別 上級で学ぶ日本語』 『テーマ別 中級から学ぶ日本語』						

授業内容・授業計画

[illegible]

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度	
					科目コード	T2-K16	
時間数は45分換算							
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス		
Japanese Culture II					国際観光・ビジネス科		
日本文化 II							
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	60	2	神谷 由佳		
授 業 の 目 的							
より日本文化に親しみ、理解するための上級レベルの日本語を学ぶ。 本科目では、応用日本語Ⅱの授業で使用するテキスト『上級で学ぶ日本語』のワークブックを用い、 習得した語彙、文法を駆使し、さらに一歩進んだ音声や読み物に触れる。また、内容理解に必要な 日本の文化風習、日本人の考え方も併せて習得していく。							
授 業 の 到 達 目 標							
1. 日本文化風習、日本人の考え方についての知識が得る。 2. 難解な日本語に接した場合、自ら調べ、意味を理解することができる。							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習		実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○		
ロールプレイ		P B L		反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○		
その他							
成 績 評 価 の 方 法							
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計	
評価項目							
修了試験			15%	15%		30%	
随時試験			15%	15%		30%	
随時課題			10%	10%	10%	30%	
授業態度					10%	10%	
使用テキスト・教材							
『上級で学ぶ日本語 ワークブック』 『中級から学ぶ日本語 ワークブック』							

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度	
				科目コード	T2-K22	
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス		
IT Basic Skills II				国際観光・ビジネス科		
IT 基礎技術Ⅱ						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必須	30	1	笹瀬 由香	
授 業 の 目 的						
Excel 関数操作方法を習得し、会計用語等の日本語の知識を深める。						
日本情報処理検定協会「表計算」合格を目標として操作技術の向上をはかる。						
授 業 の 到 達 目 標						
日本情報処理検定協会「表計算4級」以上合格を目標として操作技術の向上をはかる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
課題			10%	10%	10%	30%
期末試験			50%	%	%	50%
授業態度			%	%	15%	15%
出席率			%	%	5%	5%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集』日本情報処理検定協会						

[illegible]

シラバス（授業概要）		年 度	2025 年度			
		科目コード	T2-K-24			
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
PresentationⅡ プレゼンテーション技法Ⅱ					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	神谷 由佳	
授 業 の 目 的						
これまで習得した日本語を、ホテル・観光業やサービス業でのお客様対応に活かすため円滑なコミュニケーション能力と顧客視点を身に着ける。 覚えた単語を単に活用するのではなく、お客様に合わせて言葉を使い分け、ユーモアのある会話力のお客様に付加価値を与えることのできるサービスマンを目指す。						
授 業 の 到 達 目 標						
(1) 謙譲語・敬語・丁寧語の使い分けを理解し、さらに語彙を広げることで自信をもって日本語でのコミュニケーションをとることができる。 (2) 相手の立場に立って、真摯な姿勢でコミュニケーションをとることができる。 (3) 顧客のニーズをとらえたサービスや商品の提供ができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
面接ロールプレイング			20%	20%	10%	50%
商品・サービスプレゼンテーション			10%	20%	20%	50%
受講態度／出欠（加点・減点）			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
接客サービス基本テキスト（キャリア総研）						

[illegible]

シラバス（授業概要）	年 度	2025 年度			
	科目コード	T2-K25			
時間数は 4 5 分換算					
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス
Introduction to Business Administration 経営学概論					国際観光・ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	中村 真
授 業 の 目 的					
企業活動をする上で必要となる関連知識を総合的に学習する。ビジネス一般の仕組みを理解することで、社会人に求められる基礎的な力の習得を目指す。それらをもとに仕事で成果を出す方法について学ぶ。					
授 業 の 到 達 目 標					
- 企業の仕組みを理解し、出された指示に対して肯定的に捉える力を持つ。 - 依存ではなく自立した状態を作れる。 - 否定的な見方から客観的・肯定的視点に移行できる。 - 協働の概念を理解し、プロジェクトチームの一員として行動できる。					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○
ロールプレイ		P B L		反転授業	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	
その他					
成 績 評 価 の 方 法					
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目		10%	20%	%	30%
レポート		10%	20%	%	30%
途中課題		5%	15%	10%	30%
ワークショップ実践		%	%	10%	10%
受講態度		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					
・プリント資料、演習課題（講師作成）					

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K26
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
marketing マーケティング					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	鈴木 加絵	
授 業 の 目 的						
日本における複雑なマーケティングの手法を学び、細分化する日本市場のニーズを集計・分析することでサービスマンとして利益を生むための販売戦略や、お客様に商品やサービスを訴求する力をつける。						
授 業 の 到 達 目 標						
①日本におけるマーケティング手法を理解し、日本で展開するビジネスに活かすことができる。 ②顧客ニーズに視点を置いて市場機会を見つけ、ビジネスの戦略を立てることができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク	○	プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業		
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
定期テスト①（筆記）			15%	10%		25%
定期テスト②（プレゼンテーション）			20%	20%	10%	50%
随時テスト（調査レポート）			5%	15%	5%	25%
授業態度・出欠席（加点/減点）						
使用テキスト・教材						
自作のワークシートを使用します						

[illegible]

その他
※実務経験がある教員が担当する科目である。

関連科目
サービス実習

サービス実習

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K29
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Human Resources 2					国際観光・ビジネス科	
人的マネジメントと組織Ⅱ						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	中村 真	
授 業 の 目 的						
社会人に求められる基礎的な力を習得し、マネージャーとして交渉力や調整力を発揮するするために、人間の行動の仕組みを理解し、日常生活におけるセルフコントロールと、他人との関わり方を効果的なものにする方法を学び身に付けていく。						
授 業 の 到 達 目 標						
(1) 企業の仕組みを理解し、出された指示に対して肯定的に捉える力を持つ。 (2) 依存ではなく自立した状態を作れる。 (3) 否定的な見方から客観的・肯定的視点に移行できる。 (4) 協働の概念を理解し、プロジェクトチームの一員として行動できる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業		
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
レポート			10%	20%		30%
途中課題			10%	20%		30%
ワークショップ実践			5%	15%	10%	30%
受講態度					10%	10%
使用テキスト・教材						
ビジネス選択理論能力検定3級公式テキスト プリント資料、演習課題（講師作成）						

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K31
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Sales Management II 営業マネジメントⅡ					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	山田 穎二	
授 業 の 目 的						
マネージメントとは「組織に成果をあげさせるもの」。組織（観光業）の使命を知り、組織の使命から顧客の求めている商品を作り、価格や販売方法など総合的に考え利益について考えます。「誰に・どのような価値を・どのようにして提供するか」を習得するために考察します。						
授 業 の 到 達 目 標						
(1) 正しい日本語で記述できる (2) マネージメントの基本を習得できる (3) 観光業にとってのマネージメントを習得できる (4) マネージメントにおける商品を知ることができる						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
定期テスト（筆記）			60%	%	%	60%
随時テスト（筆記）			30%	%	%	30%
受講態度			%	%	10%	10%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
なし						

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授業概要）		年 度	2025 年度		
		科目コード	T2-K33		
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス	
Service and reception skills II				国際観光・ビジネス科	
サービス・接遇II					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	120	4	安部 珠恵
授 業 の 目 的					
語学力、日本文化の理解、「おもてなしの心」。学生はこれら日本の接客業でもとめられるコミュニケーションスキルを習得し、現場で主体的なサービスができるようにロールプレイングで訓練を積むことが求められる。また、ホテル、空港、デパートなどで使用される高度な接客表現や所作マナー、場面ごとの適切な応対を学び、その身につけた技術を証明するために「サービス接遇検定3級」の取得を目指す。 さらに、適切な電話応対を可能にするため、ビジネス電話の型を覚え、聞き取りやすい日本語の発音でスムーズに対応できるように訓練する					
授 業 の 到 達 目 標					
(1) ホテル、レストラン、空港を想定し、おもてなしの心を伝える接客用語と所作を使用できる (2) 正しい敬語と文法でお客様への依頼、謝罪、提案ができる (3) サービス接遇2、3級を取得する (4) 聞き取りやすい日本語で電話応対ができ、施設の案内、予約、キャンセルなどができるようになる (5) 顧客心理を理解し、クレームの対応ができるようになる					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ	○	P B L		反転授業	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	
その他					
成 績 評 価 の 方 法					
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度
評価項目					配点計
終了時テスト（筆記、ロールプレイング）			50%	%	%
随時テスト（筆記、ロールプレイング）			10%	%	%
課題			10%	%	%
受講態度			%	15%	15%
			%	%	%
使用テキスト・教材					
『おもてなしの日本語』 『サービス接遇3級実問題集』 プリント					

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
１．おもてなしの日本語 ロールプレイング	6		
２．就職面接練習			
２－１第一印象について	2		
２－２立ち居振る舞い	6		
３．接客用語、敬語の練習	6		
４．接遇検定対策Ⅰ			
４－１ 記述問題練習	8		
４－２ 選択問題の練習	10		
４－３ 一般常識	4		
４－４ 過去問演習	6		
５．サービス接遇準１級ロールプレイング練習	8	○	
前期テスト	4	○	△
６．接遇検定対策Ⅱ			
６－１アナウンス練習	4		
６－２掲示文の書き方	4		
６－３留守番電話の入れ方	4		
６－４謝罪の言葉	4		
６－５メールの書き方	4		
７・接遇検定演習	10		
８．ホテルフロント業務			
８－１ 宿泊、レストランの予約	4		
８－２ ベルマン お部屋への案内	4		
８－３ クレーム対応	4		
９・電話応対			
９－１ 案内、予約、取り次ぎ	6		
９－２ クレーム電話	4		
１０・ロールプレイングまとめ	4		
後期テスト	4	○	○
その他	関連科目		
この科目は実務経験のある教員が担当する科目である			

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K34
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学科・コース	
Service Trainig サービス実習					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	鈴木 加絵	
授 業 の 目 的						
「マーケティング」の授業で身に着けた利益を生むための販売戦略や、お客様視点を実際にお客様へ接客をすることで理解を深め、サービス業で主体的に業務に取り組む力をつける。						
授 業 の 到 達 目 標						
①接客で活用できる語彙を増やす。 ②顧客ニーズに視点を置いて接客対応や企画立案に活かすことができる。 ③顧客の特性を理解し、状況に応じた言葉を選び円滑にコミュニケーションをとることができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク	○	プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	P B L	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業		
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
定期テスト①（筆記）			15%	10%	%	25%
定期テスト②（ロールプレイング）			20%	20%	10%	50%
実践スキル			%	15	10	25
授業態度・出欠席（加点・減点）			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
自作のワークシートを使用します						

[illegible]

その他
※実務経験のある教員が担当する科目である

関連科目
マーケティング

※実務経験のある教員が担当する科目である

マーケティング

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K36
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Hospitality English II 接客英語Ⅱ					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	クレスポ・クリスティナ	
授 業 の 目 的						
外国人のお客様が多い昨今、日本語だけでなく英語での対応もできるようにするため基本的な接客英語の表現を学ぶ。						
授 業 の 到 達 目 標						
ホテルで外国のお客様と宿泊に関する基本的なコミュニケーションをとることができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習		実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	P B L	○	反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
期末テスト			20%	20%	%	40%
出席状況			%	%	10%	10%
態度			%	10%	10%	20%
随時テスト×3			15%	15%	%	30%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
*ホテル英会話Ⅰ 基礎編 By 日本ホテル教育センター（基礎クラス） *ホテル英会話Ⅱ 応用編 By 日本ホテル教育センター（応用クラス）						

[illegible]

その他

関連科目 ・「ホテル概論」、「ホテル実務」、「ホテル研究」 ・ホテル専門用語活用Ⅱ	
--	--

- ・「ホテル概論」、「ホテル実務」、「ホテル研究」
- ・ホテル専門用語活用Ⅱ

シラバス（授業概要）				年 度	2025 年度
				科目コード	T2-K37
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス	
Selected Language 選択言語				国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	青嶋 晶子
授 業 の 目 的					
コロナ禍のため規制されていた日本への入国制限が緩和され、外国人観光客が日本に戻りつつある。今後は中国からの訪日客も大幅に回復すると予想されているので、中国語は観光やサービスの業界において必須なものとなるだろう。本科目では将来サービスの業界で活躍する学生に接客中国語を学んでもらい、中国からの旅行客に対し、積極的に声掛けができるようにする。					
授 業 の 到 達 目 標					
①中国語の基本的な構造を理解する。 ②正しい声調で発音することができる。 ③接客日本語との違いを理解する。 ④場面にふさわしい中国語を話すことができる。					
授 業 方 式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授 業 形 態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ	○	P B L		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○
その他					
成 績 評 価 の 方 法					
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目					
修了テスト（会話／筆記）		20%	20%	%	40%
随時テスト（会話／筆記）		10%	10%	%	20%
課題		10%	%	10%	20%
授業態度		%	%	20%	20%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					
『カタカナで読める！接客中国語』					

[illegible]

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K39
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
TOEIC II					国際観光・ビジネス科	
TOEIC 対策 II						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	60	2	クレスポ・クリスティナ	
授 業 の 目 的						
就職活動で有利にするため、そして就職後も活かせるようにするため、ビジネス上/日常で使われる英語の聴解、読解を学んでいく。						
授 業 の 到 達 目 標						
TOEIC を受験させ、ネパール、スリランカ、フィリピンなど英語圏の学生は 750 点以上。ベトナムなど非英語圏は 600 点以上を目指す						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	P B L	○	反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
随時テスト			40%	%	%	40%
出席状況			%	%	10%	10%
態度			%	5%	5%	10%
期末テスト			40%	%	%	40%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『はじめての TOEIC L&R テスト きほんのきほん』 By スリーエーネットワーク						

授業内容・授業計画

[illegible]

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K42
時間数は 4 5 分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Tour PlanningⅡ					国際観光・ビジネス科	
ツアープランニングⅡ						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	鈴木 康久	
授 業 の 目 的						
ニューツーリズムの概念と全国の観光地の知識を習得する 実際の観光地へのフィールドワークを行い、観光地の魅力や課題も研修する 浜松の歴史についても研修を行う 着地型旅行のプランニングを行う 前期後半では、JR 時刻表、運賃計算など高度な能力を習得する 後期の前半では、観光の現場でフィールドワークを行い、就職活動に役立つ研修する コースプランニングは2泊3日以上国内旅行プランニングを演習する 最終は自身で作成したプランをプレゼンテーションする						
授 業 の 到 達 目 標						
（１）全国の観光地の特徴、地理、歴史を習得 （２）着地型旅行のプランニング基礎を習得 （３）接客のおもてなし術を習得 （４）全国のコースプランニングをニーズに合わせてできる （５）プレゼン能力を習得						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク	○	プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業		
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目						
終了時プレゼンテーション			30%	20%	%	50%
定着テスト			10%	%	%	10%
課題			10%	10%	%	20%
受講態度			%	%	20%	20%
使用テキスト・教材						
講義では配布するレジュメ、パワーポイントを使用する JR 時刻表は講師から配布（2～3 人に 1 冊）						

[illegible]

シラバス（授業概要）					年 度	2025 年度
					科目コード	T2-K45
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
ホテル実務Ⅱ					国際観光・ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2 年	前期	必修	60	1	杉森 沙奈恵	
授 業 の 目 的						
*今まで習った知識を形にでき、さらに就職活動でアピールできるように旅館ホテル観光ビジネス検定を受験。そのための練習を行う。今まで培った力/ホテル知識を再確認する。 *今までのまとめを含めニーズにあったホテルを選択できる。1年生の際に行った予約やチェックインの実技の応用を行うことで、対応力を身に着ける						
授 業 の 到 達 目 標						
*各セクションの仕事内容を理解することができる。 *旅館ホテル観光ビジネス検定 3級に合格することができる。 *主要なホテル(国内、外資) についての情報を簡単に説明ができる。 *浜松駅近くのホテルを知り、個々のニーズにあったホテルを案内できる。 *ホテルで働いた時、お客様のリクエストに沿うよう案内ができる						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	P B L	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目			20%	10%	%	30%
随時テスト			%	%	5%	5%
出席状況			%	10%	10%	20%
態度			30%	%	%	30%
期末テスト			5%	5%	5%	15%
プレゼンテーション			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
・旅館ホテル観光の教科書 By NPO 法人 日本ホテルレストラン経営研究所						
授業内容・授業計画						

[illegible]